

「令和5年度定期監査の結果に関する報告」概要

《総括》

本年度の指摘、指導及び検討事項の件数は28件でした。(昨年度は22件)

各機関が適正な事務執行に努めている中で、収入事務及び支出事務等基本的な事務処理の誤りを始めとして、これまでと同様の不適切な事案が見受けられました。

リスク発生の背景及び原因の分析や業務上の問題点を可視化し、効果的で効率的なリスク管理・回避方法について組織内で共有するなど、不適切な事案の発生防止に取り組んでください。

監査の概要

対象年度：令和4年度

対象機関：県の全352機関（一般会計・特別会計341機関、企業特別会計11機関）

重点監査：テーマ1 補助事業の履行確認の実施状況について

テーマ2 地質調査に伴うボーリングコアの保管及び廃棄状況について

監査結果

1 指摘・指導・検討事項の件数

一般会計・特別会計において、指摘事項が1件、指導事項が25件、検討事項が2件ありました。

企業特別会計においては、指摘事項等はありませんでした。

改善を要すると認められた軽微な事項については、その都度注意を行いました。

2 指摘事項（報告書13ページ参照）

県の不適切な事務処理による損害賠償の発生（生活排水課）

社会資本整備総合交付金に係る市村からの交付申請書等を、県が国へ進達しなかったなど不適切な事務処理により、該当市村が当該交付金の交付決定を受けられなくなり、県費による損害賠償が計25,699,300円発生した。

3 指導事項（報告書14～19ページ参照）

区分	件数	延べ機関数	主な内容
収入事務	8	12	道路占用料・河川占用料の過徴収及び徴収不足、普通財産貸付料の算定誤り ほか
契約事務	4	8	建設工事請負人等選定委員会による審議未実施、求人広告掲載における不適切な事務処理 ほか
支出事務	8	8	職員給与の支給方法の誤り、給付完了検査調書の未作成、事前審査未実施 ほか
補助金事務	2	2	補助金の額の確定の遅延 ほか
財産管理事務	1	1	備品原簿の未整備
その他	2	5	利用料金の設定等に係る不適切な事務処理 ほか
計	25	36	

4 検討事項（報告書20ページ参照）

区分	件数	延べ機関数	主な内容
財産事務	2	2	物品の貸付けに係る適正な事務手続の周知 ほか

意見

1 意見の状況（報告書6、12及び22～28ページ参照）

区分	件数	主な内容
重点監査	2	テーマ1 補助要綱等の見直しの検討 ほか テーマ2 ボーリングコアの保管及び廃棄に係る基準等の策定又は見直し ほか
各部局共通	2	内部統制制度の着実な運用とコンプライアンスの推進 ほか
部局ごと	6	税外収入未済額の解消、信州F・POWERプロジェクトへの対応 ほか
計	10	

2 主な意見

(1) 補助事業の履行確認（重点監査テーマ1）

補助要綱等の規定が不明瞭であったり、補助要綱等で定める様式のみ提出を求めており、証拠書類や成果品などによる履行確認を行っていない事例があるため、証拠書類や成果品などを提出させるよう補助要綱等の見直しを検討してください。

(2) 地質調査に伴うボーリングコアの保管及び廃棄（重点監査テーマ2）

ボーリングコアの保管及び廃棄を適切に行うため、コアを保管する基準やコアを廃棄する基準を具体的に明示するなどの点に留意し、基準等の策定又は見直しを行うとともに、不要なコアは適正に廃棄（処分）するよう努めてください。

(3) 内部統制制度の着実な運用とコンプライアンスの推進（各部局共通）

不適切な事案の発生は、関連する制度等についての理解不足、情報共有やコミュニケーション不足などに起因するものですが、背景には業務の多忙化があると思料されます。

このため、具体的なリスクやその効果的な回避などの事例を共有するとともに、新たにICTツールの活用なども含めたリスク管理・回避の方法について検討し、有効な方法について全庁的に共有するなど、不適切な事案の発生防止に努めてください。

また、リスク管理・回避の取組が業務効率化等と一体のものとして進められ、実効性が高まることを期待します。

(4) 税外収入未済額の解消（各部局共通・部局ごと）

令和4年度の税外収入未済額は前年度と比べ1億1,317万余円(4.3%)減少していますが、依然として多額となっていますので、「税外未収金に係る債権回収・整理マニュアル」に基づき、本庁と現地機関が一体となり縮減に向けた取組を積極的に進めてください。

(5) 信州F・POWERプロジェクトへの対応（林務部）

県は、「信州F・POWERプロジェクト事業計画」を平成25年に策定し、事業主体に約25億円の補助金等を交付するとともに、事業計画の実行に向けた取組を行ってまいりましたが、令和5年8月に、事業計画の中核を担う事業者が民事再生手続きに入りました。

本事業には多額の補助金等を交付しているところでもあり、その効果が発揮され、成果に結びつくことが強く求められます。補助事業が継続され、プロジェクトの所期の目的が達成されるよう、関係者間で情報を共有し、状況に応じた指導及び支援等を適切に行うなど、支援体制の強化を図るために立ち上げた2つのチームによる実効性ある取組を進めてください。